



## ■ 2学期の教育活動にご期待ください

酷暑の8月が終わりました。始業式で子供達の元気な姿を見て安心しました。2学期は学校の取組みが一番充実する学期です。毎日の授業の他に学習発表会・展示会・学校間交流の計画もあります。毎日元気に登校できるように2学期もご協力ください。

### (1) オンライン学習デイ (8月27日~29日)

オンライン環境の準備にご協力をいただきありがとうございました。



参加した子供達だけでなく、教員達が子供達の様子を見て、新学期への気持ちがぐっと高まりました。写真はオンライン学習の舞台裏(スタジオ)の様子です。

### (2) 教員の勉強と2学期の準備を行いました

夏季休業期間中の7月はXでご紹介したように研修を集中的に実施して専門性を高めました。2学期の学習や日々の指導に活かしてまいります。

前期の学習評価と後期個別指導計画につきましては、後段の記事のとおり9月個人面談期間にご相談いたします。

### (3) 教育環境整備についてのご報告

#### ①図書室リニューアル：読書活動充実へ！

2学期に向けて研究研修部「読書活動充実プロジェクト」担当者が読書活動先進校を視察しました。その学びを活かして図書室をリニューアルしました！



バーコード貸出しシステムの導入や子供達の学びやすさを考えたレイアウト変更などの環境整備も行いました。

新刊の選書・購入も順次進めていきます。デジタル図書は伊藤忠記念財団の支援を受けて充実を図っていきます。子供たちには図書室の利用方法を説明して、読書活動を充実していきます。

#### ②A T室(アシスティブ<sup>エーティブ</sup>テクノロジー機器室)整備

支援機器等を管理する部屋を整備しました。A T室(本校舎2階)と呼びます。



子供たちの学びやすさや、コミュニケーションを豊

かにするテクノロジーの活用を進めていきます。

#### (4) 「防犯・防災・健康保持」油断なく進めます

大規模震災、酷暑・豪雨・台風・気候変動への対応が迫られる報道が続いています。今号では生活指導部から後段の記事で、安心・安全の取組について全体像をお伝えします。

#### (5) ご協力をお願い

教育活動をよりよく伝えるための「情報発信」に力を入れています。主な取組みは以下の通りです。保護者様向けではないものも記載しています。

- 各種通信刷新(教員全員が書き手に)
- HP刷新
- Xポスト開始
- 取材受入れ
- 研究や実践発表
- 教材教具情報展示(区内教育関係者向け)
- 教員人材確保のための宣伝活動
- 学校見学の説明資料刷新

各種通信の中でも「学年便り」では授業などの日々の指導の目的や説明、子供たちの学習の様子などを掲載する号を増やしています。教育活動をできるだけ分かりやすく伝えることと、書いて発信することで自分たちの日々の仕事を省察(リフレクション)する意図があります。

特別支援教育や特別支援学校のこと、通学している子供たちに関する理解充実はまだまだ十分ではありません。教員がまず保護者様によりよく伝えられる力を付けることが理解充実の第一歩になると考えています。

後日、学年だより等のお便りへの感想等をいただくための連絡を差し上げる予定です。教員へのフィードバックにご協力ください。

Xのフォローもぜひお願いいたします。

校長 石川 拓

## ■ 二回目の個人面談がはじまります

教務部主任 主幹教諭 笠井 達矢

今年度二回目の個人面談を行います。個人面談期間は9月13日(金)から20日(金)までの5日間です。

一回目の個人面談では、前期の「個別指導計画」をもとに指導目標、指導内容について担任と共に確認させていただきました。今回の面談では、前期の学校での様子や、取り組んだ学習内容とその評価についてお伝えします。お子様の具体的な様子や課題を保護者の皆様と共有いたします。

前期の学習の成果と課題を踏まえて、後期の「個別指導計画」をお示しいたします。後期の学習目標や手立てについて担任とお話してください。

**個人面談は、保護者の皆様とのやり取りを通して、お子様の学校、ご家庭それぞれの様子を共有する重要な機会です。このやり取りが個に応じた指導の質を支えます。**どうぞよろしくお願いたします。

## ■ 2学期も安心・安全な学校作りに取組みます

生活指導部主任 主幹教諭 佐藤 しほ

児童・生徒にとって豊かな学びの場となる学校であるために、日々安心・安全の確保に努めています。取組の概要をお知らせいたします。

### (1) 避難訓練の実施

避難訓練は都の定めによって都立幼稚園・小中学校・特別支援学校は年11回実施します(一泊二日宿泊防災訓練を除く)。地震・火災・水害を想定して、共通の目標を次のように設定して実施しています。

- ①緊急避難経路を覚えること
- ②実際の災害発生状況に応じて適切な避難経路を通して避難できること
- ③繰り返し訓練することで、いざという時に慌てず混乱なく迅速に避難行動をとれること

本校では、地震・火災・水害を想定した訓練を計画的に実施しています。

学年や児童・生徒の実態に応じて、避難訓練当日だけでなく様々な学習場面で、ヘルメットを装着する練習や、机の下にもぐって避難する練習にも取り組んでいます。繰り返し取り組むことで、小学部1年生も避難訓練時にヘルメットをスムーズに装着して、落ち着いて避難できるようになってきました。

今後一刻を争う事態が起こるかも知れません。いつ災害が起きても対応できるように、日頃から対策と準備を徹底して行っています。



写真は昨年度末(2月)の赤塚公園への避難訓練の様子です。今年度も避難訓練のまとめとして年度末に実施する予定です。

## (2) 安全を守る取組の概要

### ○全校の取組

#### 【①安全教育】

生活安全⇒セーフティ教室、不審者対応訓練

交通安全⇒交通安全教室

災害安全⇒各月実施の避難訓練

健全育成⇒いじめ、体罰等の早期発見、早期対応

#### 【②安全を確保する取組(未然防止と緊急対応)】

個人カード管理(通学方法等の状況把握)

校外学習等行方不明時対応マニュアル作成

生活指導目標掲示 校内の安全点検

応急救急法講習実施(AED操作・心臓マッサージ)

熱中症チェッカーでの測定

アレルギー事故防止校内ルール徹底(毎学期始)

スクールバス降車確認訓練(毎学期始)

EMコール訓練(緊急時対応訓練、毎学期始)

#### 【③再発防止に向けての取組】

インシデント・アクシデント報告

※事故発生後及びヒヤリハット後には、直ちに原因分析し翌日の職員朝会で事実と対策を周知。

※当該児童・生徒の保護者様には上記と同様の内容を必ず伝達。

### ○新規採用教員向け研修

次の資料を活用して研修を実施しています。

※表中の「危険因子」とは、事故の可能性を高める可能性があるものという意味です。

要 因		危険因子(リスクファクター)の例
個 人	行動	廊下や階段で走る、窓から身を乗り出す、フェンスによじ登る、誤った用具の使用、ルールや注意を守らない
	心身状態	あわてる(あせる)、ぼんやり、イライラ、気がかり、ふざける、風邪気味、頭痛、腹痛、体調不良
	服装	実験時のゴーグル 不要な装飾物(ひもやリボン) 靴や上履きの履き方(かかと部分)
環 境	廊下の水たまり、床のビニールゴミ、Pタイルの一部破損、廊下や教室の突起物、廊下の傘立てや消火器、蛍光灯が切れている(照明不足)	

(出典) 独立行政法人教職員支援機構生活安全より

## ○二次避難所(福祉避難所)として板橋区との協定の刷新を行っています

大規模震災の発生時や、台風・大雪等の荒天が予想される場合、本校は在校する児童・生徒とご家族の避難場所として優先的に開放いたします。

板橋区とは二次避難所としての協定を既に締結しています。支援が必要な区民の方々の中で、区が一次避難所での対応が困難であると判断した方々の一部を受入れることとなります。

実際にどの程度の人数の区民の方を、校舎のどのエリアで受け入れるか等の詳細を板橋区の所管課と詰めています。詳細が決まりましたらご説明いたします。

## ■副籍に関するアンケートへご協力をお願いします

キャリア支援部主任 主幹教諭 三好 紀子

副籍制度とは、「都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区市町村立小・中学校(地域指定校)に副次的な籍(副籍)をもち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る取組」のことです。

副籍制度が目指すものは、共生社会の実現です。副籍制度が、障害のある子供と障害のない子供をつなぎ、支え合って生きる社会の形成に向けた方策の一つとして、更に充実・発展することを目指しています。

本校では、副籍交流を全校児童・生徒の3人に1人以上、直接交流も間接交流もそれぞれ2割近く(直接交流:小学部26%・中学部7%、間接交流:小学部23%・中学部7%)が実施しています。

今年度、本校は、東京都教育委員会より「令和6

年度副籍制度の充実による交流活動の推進事業」の研究推進校の指定を受け、「副籍交流事例集」の改訂版を作成することになりました。本校の副籍交流の好事例を事例集で紹介し、都内はもちろん、全国へ発信していく予定です。

そこで、副籍交流を行っているご家庭に、9月下旬、アンケートをさくら連絡網にて実施いたします。内容は、①直接交流における主任児童委員の同行によるエピソード、②プロフィールカード(「〇〇さん新聞」等)を地域指定校に渡したことでのエピソードの2点です。これまでの副籍交流経験で得たことを、ぜひ具体的にお教えてください。下図の書式で紹介する予定です。また、アンケート回収後、回答内容の詳細について確認させていただくこともありますので、ご了承ください。

2 交流アイデア例

① アイデアの概要 ② ポイント ③ アイデアの成果

原稿例 プロフィールカードの作成

<p>①アイデアの概要</p> <p>地域指定校の児童・生徒向け 特別支援学校の児童・生徒や 特別支援学校の紹介</p>	<p>プロフィールカードの例</p> <p>実際の書式</p>
<p>②ポイント</p> <p>・プロフィールカードの作成 ・掲示場所、紹介の工夫</p>	

また、下図のような形式で、交流の具体的なケースを紹介させていただく予定です。副籍交流を実施しているご家庭の中から、個別にご相談させていただきます。

事例ページ(案)

1 交流事例

① 事例概要(本人の情報、希望など) ② 交流計画  
③ 工夫のポイント(学校、本人・保護者の視点) ④ 交流の様子  
⑤ 交流の成果

原稿例 早期からの交流開始

<p>①事例概要 (小学部 1年)</p>	<p>③工夫のポイント ・交流前の出前授業 ・交流時の配慮事項の確認</p>
<p>②交流計画(開始前後の動き)</p> <p>○月 地域指定校との打合せ ※ 1回目の交流内容のみ</p> <p>○月 交流開始 ※ 地域指定校との打合せ 2回目以降の計画</p> <p>○月 地域指定校との打合せ ※ 次年度の交流計画</p>	<p>④交流の様子</p> <p>写真 イラスト</p>
	<p>⑤交流の成果</p>

今回の事業を契機に、本校の副籍交流の一層の充実につなげたいと考えております。どうぞ、ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。

# 令和6年度 9月行事予定

スクールバス発車時刻 短縮便 1 1 : 4 0 1 便 1 3 : 5 5 2 便 1 5 : 3 5

日	曜	全校行事	小学部	中学部	保健
1	日				
2	月	始業式 全校短縮便下校	短縮便下校	短縮便下校	
3	火	給食始			身体測定 (中)
4	水				身体測定 (小4~6)
5	木	災害伝言ダイヤル訓練			身体測定 (小1~3)
6	金	総合防災訓練 (引取り)	<b>スクールバスの下校便なし</b>		
7	土				
8	日				
9	月				
10	火			清掃体験 (中1)	
11	水				
12	木				精神科健康相談
13	金	個人面談 始◆	個人面談	1便下校 個人面談	宿泊前健診 (中3)
14	土				
15	日				
16	月	敬老の日			
17	火	全校 1便下校	1便下校 個人面談	1便下校 個人面談	
18	水		個人面談	個人面談	
19	木	全校 1便下校	1便下校 個人面談	1便下校 個人面談	
20	金	個人面談 終▼	個人面談	1便下校 個人面談	
21	土				
22	日	秋分の日			
23	月	休日			
24	火				
25	水			中3 修学旅行 始●	
26	木	給食試食会	小4 社会見学		
27	金			中3 修学旅行 終▼	
28	土				
29	日				
30	月				宿泊前健診 (中1)